



「人権まちづくり基本計画」を指針として、「誰もが安心して暮らせる明るい街づくり」に学習活動等を展開していきます。

**淡路市人教は、「人権まちづくり」を「ネットワーキングづくり」と考えて活動します。**



5月25日(木) 市役所2号館3階大会議室において、淡路市人権教育研究協議会の定期総会を開催しました。市内の各種団体、行政、学校から選任された代議員が集い、今年度の事業・予算等を確認しました。今年度は、「引きこもり」問題に係る対策委員会準備会(仮称)を新規に立ち上げる予定です。

今年度の事業として、「2017じんけん市民講座」「第13回人権を考える集い」「人権シネマの集い」の計画をしています。

また、淡路地区研究大会(淡路市)、県中央大会(加古川市)、全国大会(島根県)にも積極的に参加していきます。

文集「こころ」、人権広報「まるとじんけん」、研究・啓発(人権尊重ポスター・標語募集)、学校教育代表者委員会(学校人権教育の推進)とそれぞれの委員会では、市民の視点から分かりやすく共感が得られるよう更に工夫していきます。

この他に今年度は、学校中退や離職等で展望を失い引きこもりへと困難な立場に立たされている人の把握を行い、この人たちへの「居場所・働き場所づくり」に向けての取組を進めたいと思っています。

**役員紹介**

会 長 山添 繁 (一宮支部長)

副会長 中谷 光夫 (津名支部長)

顕谷 信雄 (東浦支部長)

栗山 靖 (岩屋支部長)

廣岡 ひろ子 (北淡支部長)

**記念映画**  
「さとにきたらええやん」  
映画参加者感想より

◆この映画をみて、子どもたちにとって自分の居場所の存在がとても重要であることがわかった。この里には複雑な家庭環境で育ってきた子どもたちが多く、ここでみんなに認められる、安心できる場所になっていると思う。

◆国、人種、男女、障害いろいろひとくくりにはできたり、されたりするが、生きていくなかで、そのようなものは人がつくっているものであると、人は人とのつながり、助けあい何より大切であると思いました。

◆西成という街を少し理解でき、この街に暮らす様々な人間模様が今の日本の格差社会が見えたように感じました。

◆今の世の中に必要な場所な



んですね。日本中の子どもたちにも「里」のような場所があって欲しいと思います。一人ひとりにしっかりと寄り添うかわりを、しっかりと見習わなくてはと思いました。

◆「さと」にいる子ども達や保護者のしんどさや心のかっとう、さげび、願い等、ひしひしと伝わってきました。そして、そこに真剣に向きあう「でめきん」さんとスタッフの人の存在が、この子達や保護者にとってかけがえのない人として、生きる勇気・希望へとつながっていくことだと思います。

**法務省人権相談窓口**

外国語人権相談ダイヤル TEL.0570-090911

(英語・中国語・韓国語・フィリピン語・ポルトガル語・ベトナム語)

みんなの人権110番 TEL.0570-003-110

受付時間 平日/8時30分~17時15分(年末年始を除く)

女性の人権ホットライン TEL.0570-070-810

受付時間 平日/8時30分~17時15分(年末年始を除く)

**インターネット人権相談受付窓口**

インターネット人権相談 検索